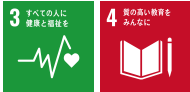


□ 要請番号 (JL04523A15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G137 ラグビー		個別	新規	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

国家体育・スポーツ委員会

2) 配属機関名（日本語）

モンゴルラグビー協会

3) 任地（ウランバートル市） JICA事務所の所在地（ウランバートル市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩 で 約 0.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1989年に設立された機関で職員は17名。2004年に世界ラグビー協会とアジアラグビー協会に加盟した。モンゴルにおけるラグビー競技の発展、普及、競技実施、大会の開催等の活動を行っている。モンゴルでは2014年に開催されたアジアラグビー選手権のDivision4で優勝したことが契機となり、2018年からはモンゴル軍のスポーツ大会においてラグビーが正式種目に採用された。加えて、年齢別に分かれたクラブチームによる国内リーグも存在する。また、ラグビー交流の一環として、2022年9月にモンゴルラグビー協会及び女子ラグビー代表選手が静岡県を訪問している。年間予算約1.5千万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モンゴルにおいてラグビーはまだ競技人口が少なく人気のスポーツではないが、近年は15人制と7人制のアジア大会及びその他の国際大会にも参加している。さらにワールドカップにおける日本の活躍により、アジア地域においてラグビーが注目されていることに加え、日本でモンゴル留学生が高校日本代表候補の合宿に招集されていることなど、今後競技人口が増加し認知度を上げることにより、モンゴルが強くなる可能性を秘める競技であることから、モンゴルにおいてラグビーの普及及びモンゴル男子代表チーム強化のためボランティアの要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の同僚と協力し以下の活動を行う。

- 男子代表チームの練習計画や戦術作成への協力、助言
- 同僚コーチとともに男子代表チームへの技術指導
- 国内クラブの監督への勉強会
- 監督を目指している学生への勉強会

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、机、いす、PC、プリンター、ラグビーグラウンド(屋外)等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:ラグビー協会理事長(経験19年、40歳、男性)、ラグビー協会マネージャー(Level2Coach、経験12年、33歳、男性)、男子代表監督(Level 1 Coach、経験8年、38歳、男性)

活動対象者:男子代表選手30~40名、国内ラグビー8クラブの監督8名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：要請に基づくため

[参考情報]：

- ・WR Level 1 Coachが必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-30～30℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

モンゴルラグビー協会